

「縄文遺跡群」世界遺産へ

北海道・北東北 三内丸山など 勧告

ユネスコ諮問機関



青森市の三内丸山遺跡 (JOMON ARCH I V E S 提供)

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関は26日、青森市の三内丸山遺跡など17遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道、青森、岩

手、秋田）を世界文化遺産に登録するよう勧告した。農耕に移行せず、狩猟などを基盤としたまま定住した縄文時代の人類の生活実態を示す貴重な物証として世界的に認められた。

（23面に関連記事）

7月16～31日にオンライン開催されるユネスコ世界遺産委員会で正式に決まる見通し。国内の世界文化遺産として先史時代は初めてで最古となる。自然遺産候補の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（鹿児島、沖縄）にも今月10日に登録勧告が出た。2件がともに登録されることになり、日本の世界遺産は文化20、自然5の計25件となる。

17遺跡は縄文時代を代表

する大規模集落跡の三内丸山遺跡のほか、北海道伊達市の北黄金貝塚や岩手県一戸町の御所野遺跡、秋田県鹿角市の大湯環状列石など。三内丸山と大湯環状列石は国の特別史跡、15遺跡は史跡に指定されている。諮問機関は勧告で「定住社会の発展段階やさまざまな環境変化への適応を示している」と評価した。当時の北海道・北東北は土器や狩猟道具、埋葬方法などが共通するひとまとまりの地域と考えられている。豊かな食料資源を背景に狩猟や漁労、採集による定住生活が1万年以上続き、17遺跡がこの間の変遷を網羅しているとして政府は2020年、一括で世界遺産に推薦した。

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- ①国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関が26日、世界文化遺産に登録するよう勧告したのは何という遺跡群ですか。

- ②その遺跡はいくつありますか。また、いくつの道県にありますか。

<input type="text"/>	遺跡	道県名	<input type="text"/>
----------------------	----	-----	----------------------

- ③遺跡の中で青森市にある縄文時代を代表する大規模集落跡を何といいますか。

- ④遺跡の発見で縄文時代のとらえ方はどう変わったか調べてみましょう。

- ⑤そのほかの遺跡を調べてみましょう。